

1 単元 アイヌ語に親しもう

2 単元目標 体験活動を通して、地域の良さを知るとともに、地域の人々とのかかわりから、望ましい人間関係を作る力を育てる。

3 目指す子どもの姿

- ① 日常生活や社会に向け、体験などをもとに自分で課題を設定することができる子
- ② 意欲をもって課題を追求し続け、自分の意見を深め、よりよく表現できる子
- ③ 他者のよさを発見したり、自分の成長を自覚し、自分の生き方を考えたりできる子

4 本時の目標

- 3・4年生 主体的に体験活動に参加し、アイヌ語を学ぶことができる。
- 5・6年生 主体的な学びを通して、コミュニケーションを図ることができる。

5 本時の展開

	児童の活動	講師○・教師●の活動	留意点・評価
つかむ	○あいさつ 縦割り班班長 ○今年度のアイヌ語学習の見通しを持つ。  ○アイヌ語の歌を歌う。 (1年生に聞かせるように)	●アイヌ語学習の今年度のおおまかな内容を児童に知らせ、見通しを持たせる。 ●講師の紹介をする。 ○アイヌ語の歌「大きなくりの木の下で」 「からだのうた」	・カードの準備  ・歌詞の用意
考える	○講師のお話を聞く ○講師の言い方をよく聞いてまねをする	○あいさつ(イランカラッテ)について教える。 ○数(1~10)について教える。 (復習もかねて2年生以上に質問しながら) ○じゃんけん 「スマ(石) カンピ(紙) イトゥエフ(はさみ) シネ(1) トゥ(2) レ(3)」	・カードの準備 【評価】 活動を通して、アイヌ語に興味・関心をもつことができる。
深める まとめる	○「王様じゃんけん」でじゃんけんに慣れる。 ○「ばくだんゲーム」で数(1~6)に慣れる。	●「ゲーム」の目的と説明をする。 (縦割り班で) (勝敗にこだわるのではなく、繰り返し正確に発音すること)	・椅子(2脚) ・ボール(4つ) ・景品(10個)
広げる	○学習の振り返り【振り返りの観点】 ・自己の変容、良さ ・次時へ向けての探求的な視点 ・アイヌ文化に対する興味・関心 ○あいさつ 縦割り班班長	●学習の振り返りをする。 児童が発表する機会を設ける。	

6 自己評価

- ①アイヌ語のスキルを高めるのではなく、アイヌ語に興味・関心をもつ
- ②アイヌ語を学習することで、アイヌ文化に対しての自身の考えを深める。

アイヌ語学習1回目(2022.5.6)の学習予定

① 数 1～10 (\*ただし、今回ゲームで使用するのは6まで)

1～シネ(フ)

2～トゥ(フ)

3～レ(フ)

4～イネ(フ)

5～アシクネ(フ)

6～イワン(ペ)

7～アラワン(ペ)

8～トゥペサン(ペ)

9～シネペサン(ペ)

10～ワン(ペ)

② じゃんけん

・スマ

カンピ

イトウエフ

シネ

トゥ

レ(フ)

(石)

(紙)

(はさみ)

1 ・ 2 ・ 3

